

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	消化器癌、小児固形腫瘍を対象としたヒト癌組織由来移植片（PDX）、ヒト癌組織由来オルガノイド（PDO）を用いた探索的治療標的分子の同定
	研究目的	固形腫瘍の組織をマウスに移植して維持するヒト癌組織由来移植片（PDX）、試験管内の三次元培養系で維持するヒト癌組織由来オルガノイドを作成し、これらを用いて有効な治療標的分子（新規分子および意義不明の変異を持つ既知の分子）を探索するシステムを作成し、探索を行います。解析の一部は、横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学教室、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター、東京大学先端科学技術研究センター、東京大学アイソトープ総合センターで実施します。また、PDXについて、東京大学医学部、東京大学医科学研究所ゲノム解析センターと共同で、がん細胞とがん間質細胞の相互作用解析を実施します。
	研究対象者	2014年～2029年の間に当センターで診断・治療を受けた若しくは受けている固形腫瘍（特に膵がん・胃がん）の患者さん
	研究期間	西暦 2019年6月26日～西暦 2029年3月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 摘出がん組織の余剰検体	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	臨床研究所がん治療学部・廣島 幸彦
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所、消化器外科、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学教室 教授 田村智彦 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 教授 井元清哉 東京大学医学部 衛生学講座 石川俊平 東京大学アイソトープ総合センター 准教授 川村 猛 東京大学先端科学技術研究センター 講師 上田 宏生